

水の偉人の銅像を贈呈

産 小松電機
業 松江市内に設置し除幕



小松社長ほか関係者らが除幕

周藤彌兵衛翁像の贈呈および除幕式（主催は小松電機産業など）が1日、松江市八雲町

の吉親水公園で行われた。私財を投じて山を開削し、河川改修した。約200人が出席した。

を寄贈できて光栄。今後も協力し、偉人の業績を国内外に広めた」と決意を述べた。目録や感謝状の贈呈に続き、関係者や地元園児らが除幕。また、来賓の島根県教育庁教育次長、地元選出の国会・県議会議員、市議会副議長らが祝辞を寄せ、万歳三唱で設置を祝った。

周藤彌兵衛顕彰会事務局長の経過報告、同会長のあいさつに続き、銅像を同会に寄贈した小松昭夫・小松電機産業代表取締役（一般財団法人人間自然科学研究所理事長）が「水循環基本法の成立後初となる水の日」に、銅像

設置された銅像は高さ2・7メートル、幅2・8メートル、奥行1・7メートルで、重さ1・3トン。周藤彌兵衛は約300年前、現在の松江市内を流れる意宇川の洪水被害を防ぐため、56歳から97歳までの42年間、山をノミと槌で切り開き、河川の切通しを完成させた。



小松社長

小松社長